

☐ テキストの特色 ☐

- 小学五年生が文章の内容を読み取る練習をするためのテキストです。
- このテキストでは、いろいろな種類の文章をたくさん読むことで、国・私立^{しりつ}中学の入試に対応できる読解力を身につけることをいちばんのねらいとしています。
- 豊富な記述問題を解くことで、真の読解力が^{やしな}養えます。
- 長文問題でさらに読解力をみがいてください。
- 「漢字とことばの知識」のコーナーで、重要なことばの知識を覚え、テストで総まとめと弱点の発見をして下さい。

もくじ

1	物語の読解(1)……………	2
2	漢字とことばの知識① 漢字 I……………	6
3	物語の読解(2)……………	8
4	随筆の読解……………	12
5	漢字とことばの知識② 漢字 II・熟語……………	16
6	伝記・脚本の読解……………	18
7	説明文の読解(1)……………	22
8	漢字とことばの知識③ ことば……………	26
9	説明文の読解(2)……………	28
10	記録文の読解……………	32
11	漢字とことばの知識④ 文法……………	36
12	詩の鑑賞……………	38
13	漢字とことばの知識のテスト……………	42
14	長文(文学的文章)の読解……………	45
15	長文(説明的文章)の読解……………	51

2

物語の読解(2)

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

15

10

5

本文

★ 主題をとらえる

35

30

25

20

本文

60

55

50

45

40

問一 線㉑㉒のカタカナを漢字に直しなさい。

㉑	㉒
㉓	㉔
び	㉕

問二 線部「来たときと同じ、そのままの姿勢」について具体的に書かれている一文を文章中からぬき出し、初めの五字で答えなさい。

問三 この文章から読み取れる「おじいちゃん」の人物像として適切なものを次から選びなさい。

- ア わがままでこわい人。
- イ きまじめで心のやさしい人。
- ウ ひかえめで気の弱い人。
- エ おだやかでのんびりした人。

問四 この文章の主題として適当なものを次から選びなさい。

- ア 今はなきおじいちゃんのことを思い出し、幼おきないころの自分の行動を反省する少女の姿。
- イ 今はなきおじいちゃんと過すごした幼いころのことを思い出し、幸福な気分

に

ひたる少女の姿。
- ウ 友人の姿に今はなきおじいちゃんのことを思い出し、しみりした思いにかられる少女の姿。
- エ 友人との会話から今はなきおじいちゃんのことを思い出し、改めて誇らしさほこを感じる少女の姿。

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

20

15

10

5

本文

40

35

30

25

7

記録文の読解

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

15

10

5

本文

★ 事実をとらえる

35

30

25

20

問一 〓線㉑〓のカタカナを漢字に直しなさい。

㉑	㉒		
		㉓	㉔
			って
			㉕
			んで

問二 この文章の……線㉖〓の文は、順序がばらばらになっています。

正しく並べかえ、順番に記号で答えなさい。

↓
↓
↓

問三 〓線㉗〓「いよいよ」という表現から、「ぼく」のどんな気持ちが

読みとれますか。次から適当なものを選びなさい。

- ア やつと美しい送り火が見られるという興奮こうふんした気持ち。
- イ まだ、火をつけないでほしいと切望する気持ち。
- ウ 送り火が見られる可能性があると期待する気持ち。
- エ 送り火がみすばらしかったらどうしようと心配する気持ち。

問四 〓線㉘〓「みんな」とはだれですか。次から適当なものを選び、

記号で答えなさい。

- ア まきに名前を書いた人たち
- イ 「ぼく」と友だち
- ウ 火をつけた人たち
- エ 見物人

問五 〓線㉙〓「きつき」とはいつですか。次から適当なものを選びな

さい。

- ア 送り火にくらべて、ネオンの数が少なかったとき。
- イ ネオンがぜんぶ消えていたとき。
- ウ 空に少しも星がなかったとき。
- エ 送り火が始まる前に、ネオンがついていたとき。

問六 病気にかからないまじないや祈りとして適当でないものを次から

選びなさい。

- ア ごま木に名前を書くこと。
- イ 燃え残りのごま木に半紙をまき、玄関へつるすこと。
- ウ 燃えかすの炭を粉にして水にまぜて飲むこと。
- エ 送り火を水にうつしながら飲むこと。

問七 送り火の燃え出した様子を何にたとえていますか。文中からぬき

出して書きなさい。

2 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文

20

15

10

5

本文

45

40

35

30

25

漢字とことばの知識 ④

文法

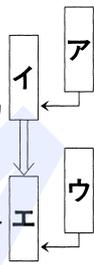
1	文の型	2	文の組み立て	3	文節の関係	4	副詞の呼応
5	名詞・動詞・形容詞	6	敬語	7	接続詞	8	助詞

1 次の文は、あとのどの型にあてはまりますか。記号で答えなさい。

- (1) 桜の花が咲く。 ()
- (2) この犬はポチだ。 ()
- (3) この教室はさわがしい。 ()
- ア 何がどうする イ 何がどんなだ ウ 何が何だ

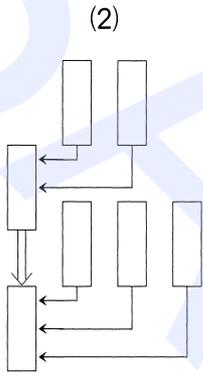
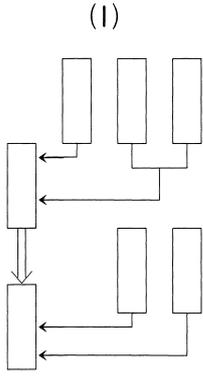
2 次の(1)・(2)の文の、主語・述語・修飾語を考えて、例のように図に記号を書き入れなさい。

(例) かわいイ鳥が、たくウさん エいる。



(1) 白アい、大イきウい、おじエさんの家オは、坂カの上キに、堂ア堂イと立ウつてい

る。
(2) 明日 ア 天気 イ だったら ウ 楽 エ しみに オ していた カ 大阪 キ 城 ク への コ 遠 ケ 足 コ が ク 予 カ 定 キ 通 ク り ケ 行 ク われる。



3 次のA～Dの文を読んで、あとの問いに答えなさい。

- A もしも空を飛ぶことができたなら、ぼくは外国へ行きたい。
- B いっしょうけんめい走ったが、勝てなかった。
- C きつと、大きくふくらむよ、あの風船は。
- D 私が友達わたがしの作文で感心したのは、人々の善意ぜんいを書いています。
- (1) Aの文の「もしも」はこのことばを修飾しゅうしよくしていますか。一文節でぬき出して書きなさい。 ()

- (2) 主語と述語の関係がおかしいのはどの文ですか。記号で答えなさい。 ()
- (3) 主語がない文はどの文ですか。記号で答えなさい。 ()
- (4) Cの文をふつうの語順の文に書きかえなさい。 ()

4 次の——線のことばに気をつけて、()にあてはまることばをひらがなで書きなさい。ただし、()で示した字数にすること。

- (1) どうして海には塩がふくまれているのです (一)。
- (2) たぶん約束の時間には、まにあう (三)。
- (3) おじさんの家は、まるでお城しろの (三) 家だ。
- (4) どうか 私わたくしにこの問題の解き方を教えて (四)。
- (5) 私がまちがっているとは、少しも思わ (二)。

- (6) たとえ試合に負け(2)、がんばり続けよう。
 (7) まさかお父さんがわすれることは(5)。

- (1) () (2) () ()
 (3) () (4) () ()
 (5) () (6) () ()
 (7) () () () ()

5 次にあてはまることばをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 名詞 () (2) 動詞 () ()
 (3) 形容詞 () () () ()

- ア 明るい イ 学校 ウ 落とす エ 悲しい
 オ 十頭 カ 燃える キ パリ ク 赤らむ

6 次のそれぞれのことばを、下の()にうまくつながるように形を変えて、敬語で書きなさい。

- (1) 言う
 ① 校長先生が私たちにこう () () ました。
 ② 父が先生によろしくと () () ました。
- (2) 見る
 ① 先生が、私の作文を () () になりました。
 ② おじさんからのお手紙を () () しました。
- (3) 行く
 ① 先生が、海外へ () () ました。
 ② 明日、父といっしょに () () ます。
- (4) 食べる
 ① どうぞこのおかしを () () ください。
 ② 遠慮なく、お茶を () () ます。

7 次の文の()にあてはまるつなぎことばをあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) 学校へはバスで行きますか。() ()、自転車でいきますか。
 (2) 外で遊ぶことができない。() ()、雨がふっているからである。
 (3) マラソンで足が痛くなった。() ()、がまんした。
 (4) ぼくは寒さに弱いです。() ()、君はどうですか。
 (5) かぜを引いて熱がある。() ()、学校を休もう。
 (6) 夏休みに海へ行つた。() ()、山へも行つた。

- ア しかし イ そのうえ ウ ところで
 エ だから オ それとも カ なぜなら

8 次の——線「ばかり」と同じ意味に使われている「ばかり」をあとから選び、それぞれ記号で答えなさい。

- (1) となりの町までの運賃は、五百円ばかりかかる。
 (2) お父さんは、ぼくをしかつてばかりいる。
 (3) はどのひなが、かえつたばかりだ。
- ア 母犬と別れた子犬は、鳴いてばかりいる。
 イ ぼくは、三十メートルばかり泳ぐことができる。
 ウ お母さんは、買い物から帰つたばかりだ。

前講座

2 物語の読解 (2)

(8~11P)

1 問一⑦生意気 ①孫 ⑦車輪 ⑤位置 ⑧喜び 問二背筋を伸ばす 問三イ 問四ウ

解説

2 問一 (例) おとうさんの図面の上から消しゴムをだまつてかりてきたから 問二イ 問三ウ 問四 (例) 道具を大切にみつかう ことの必要性 問五桂は、机の 問六おとうさんー白いまま、(おとうさん) くられている。 桂ーうすよごれくつもある。

解説

☆漢字演習③次のカタカナを漢字に直しなさい(②より)

- | | | | | | |
|-----|------|-----|-----|--------|-----|
| (1) | サクヒン | () | (2) | デンシヤ | () |
| (3) | ドウロ | () | (4) | ジヨウキヤク | () |
| (5) | ケイサン | () | (6) | キヨウカシヨ | () |
| (7) | ズメン | () | (8) | シゴト | () |

次講座

前講座

7

記録文の読解

(32 ~ 35 P)

1 問一 (ア)健康 (イ)張 (ウ)積 (エ)悲鳴 (オ)競争 問二 (C) (B) (D)

(A) 問三ア 問四エ 問五エ 問六ウ 問七化け物

解説

解説

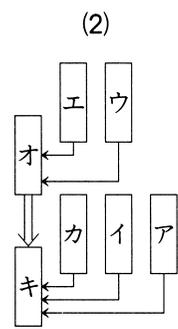
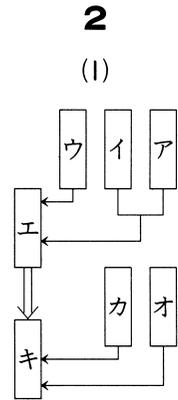
2 問一 (例) カイツブリがどのようにしてへびを防ぐのかを見た
 かったから。 問二エ 問三さかなな声 問四ア 問五 (例) た
 まごをかくしもせず、にげもしなかったから。 (例) たまごを
 守るためにひとりではびにむかっていったから。 (例) 十何は
 のカイツブリが協力してへびをおいはらったから。

解説

☆漢字演習⑩次のカタカナを漢字に直しなさい。(7より)

- | | | | | | |
|-----|--------|-----|-----|------|-----|
| (1) | ビヨウキ | () | (2) | サユウ | () |
| (3) | ケンブツニン | () | (4) | ハンシ | () |
| (5) | タイテキ | () | (6) | シンバイ | () |
| (7) | イガイ | () | (8) | オヤドリ | () |

1 (1)ア (2)ウ (3)イ



3 (1)できたら (2)D (3)B (4)あの風船は、きつと、大きくふくらむよ。

4 (1)か (2)だろう (3)ような(ごとき) (4)ください (5)ない (6)ても (7)ないだろう

5 (1)イ・オ・キ (2)ウ・カ・ク (3)ア・エ

6 (1)①おっしゃい(言われ) ②申し (2)①ごらん ②はい見 (3)①いらっしゃい(おこしになり・おいてになり) ②参り(うかがい)

7 (1)オ (2)カ (3)ア (4)ウ (5)エ (6)イ

8 (1)イ (2)ア (3)ウ

- ☆漢字演習⑪次のカタカナを漢字に直しなさい。(文法より)
- (1) キヨウシツ () (2) ドウドウ ()
 - (3) エンソク () (4) フウセン ()
 - (5) シアイ () (6) サクブン ()
 - (7) ジテンシャ () (8) ネット ()

次講座

次講座